

授業科目名	認知症の理解Ⅱ	実施時期	2 学年 前期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位 30 時間
担当教員	中嶋 恭子 (介護福祉士)・阪本 彩佳 (作業療法士) 小澤 光子 (作業療法士) 中山 純子 (京都国際音楽療法センター登録音楽療法指導員)		
授業概要・目的	認知症に関する基礎知識を基に、認知症の人だけでなく認知症予防の観点も含めて、様々なアプローチ方法があることを学び実践に繋げていく。また、地域で生活するための支援制度や環境づくりについて学び、活用方法を習得する。		
到達目標	1. 認知症の人への対応方法として、様々なアプローチ方法を考えることができる。 2. 地域で生活することを踏まえた上での、本人・家族を支援する方法を考えることができる。		
講 義 内 容			
前 期			
1	認知症ケアの実際Ⅱ	－ 生活支援の方法 －	
2	認知症ケアの実際Ⅱ	－ BPSD への対応方法 －	
3	認知症ケアの実際Ⅱ	－様々なアプローチ (1)－	様々な種類
4	認知症ケアの実際Ⅱ	－様々なアプローチ (2)－	園芸療法
5	認知症ケアの実際Ⅱ	－様々なアプローチ (3)－	音楽療法、回想法
6	認知症ケアの実際Ⅱ	－様々なアプローチ (4)－	音楽療法の実際①
7	認知症ケアの実際Ⅱ	－様々なアプローチ (5)－	音楽療法の実際②
8	認知症ケアの実際Ⅱ	－様々なアプローチ (6)－	音楽療法の実際③
9	認知症ケアの実際Ⅱ	－様々なアプローチ (7)－	音楽療法の実際④
10	認知症ケアの実際Ⅱ	－終末期・環境づくり－	
11	認知症の予防		
12	介護者支援	－家族への支援－	
13	介護者支援	－介護福祉職への支援－	
14	認知症の人の地域生活支援	－制度、サービス、機関、地域づくり	
15	認知症の人の地域生活支援	－多職種連携と協働－	
授業形態	講義		
評価方法	筆記試験、レポート、出席状況等		
テキスト	『最新 介護福祉士養成講座 第13巻 認知症の理解』／中央法規出版		
参考図書			